

# 【音ヨガについて】



गते	गते	पारगते	पारसंगते	बोधि	स्वाहा
gate	gate	pāra-gate	pāra-saṃ-gate	bodhi	svāhā
ガテ-	ガテ-	パーラガテ-	パーラ サム ガテ-	ボーディ	スワーハー
ぎやてい	ぎやてい	はらぎやてい	はらそうぎやてい	ぼじ	そわか
掲諦	掲諦	波羅掲諦	波羅僧掲諦	菩提	薩婆訶

# 音による瞑想



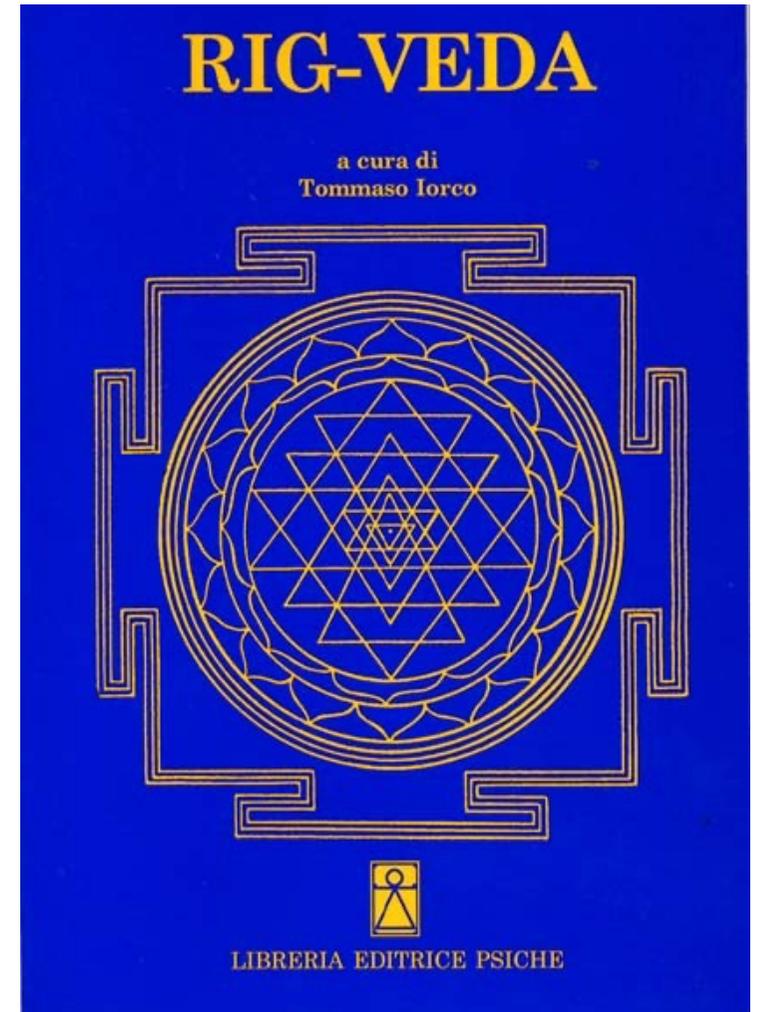


# VEDA

ヴェーダ (Veda) はもともと知識の源といわれる「音」と言われています。

約5000年前のインドでは、  
その音を聞くことができた聖者（リシ）たちによって口伝により  
伝えられてきました。

知識の源である音は今も変わらず常に私たちのいる場所に存在し、  
ただそれを受け取ることができる人がいなくなっただけ。  
という考え方があります。



## ヴェーダ聖典（文献）

### ①『リグ・ヴェーダ』

紀元前10世紀頃に編さんされた最初の聖典が『リグ・ヴェーダ』です。古いサンスクリット語で書かれた1,028篇の詩から成り、10巻に分かれた大著。

紀元前1200年頃を中心に賛歌が作られたと考えられており、インド最古の文献です。

暴風雨や太陽などの自然現象を神格化した多数の神々が登場し、神への賛歌の他に婚礼や葬儀など儀礼の際に詠う詩も収められています。

### ②『ヤジュル・ヴェーダ』 『サーマ・ヴェーダ』

『リグ・ヴェーダ』に次いで祭詩の集成である『ヤジュル・ヴェーダ』と、歌詠の集成である『サーマ・ヴェーダ』が編さんされました。

『リグ・ヴェーダ』 『ヤジュル・ヴェーダ』 『サーマ・ヴェーダ』 は三ヴェーダとして大きな権威を持っていました。

### ③『アタルヴァ・ヴェーダ』

三ヴェーダよりやや遅れて紀元前1000年頃に呪句の集成である『アタルヴァ・ヴェーダ』が編さんされました。

### ④ヴェーダのサンヒター（本集）に付随する文献

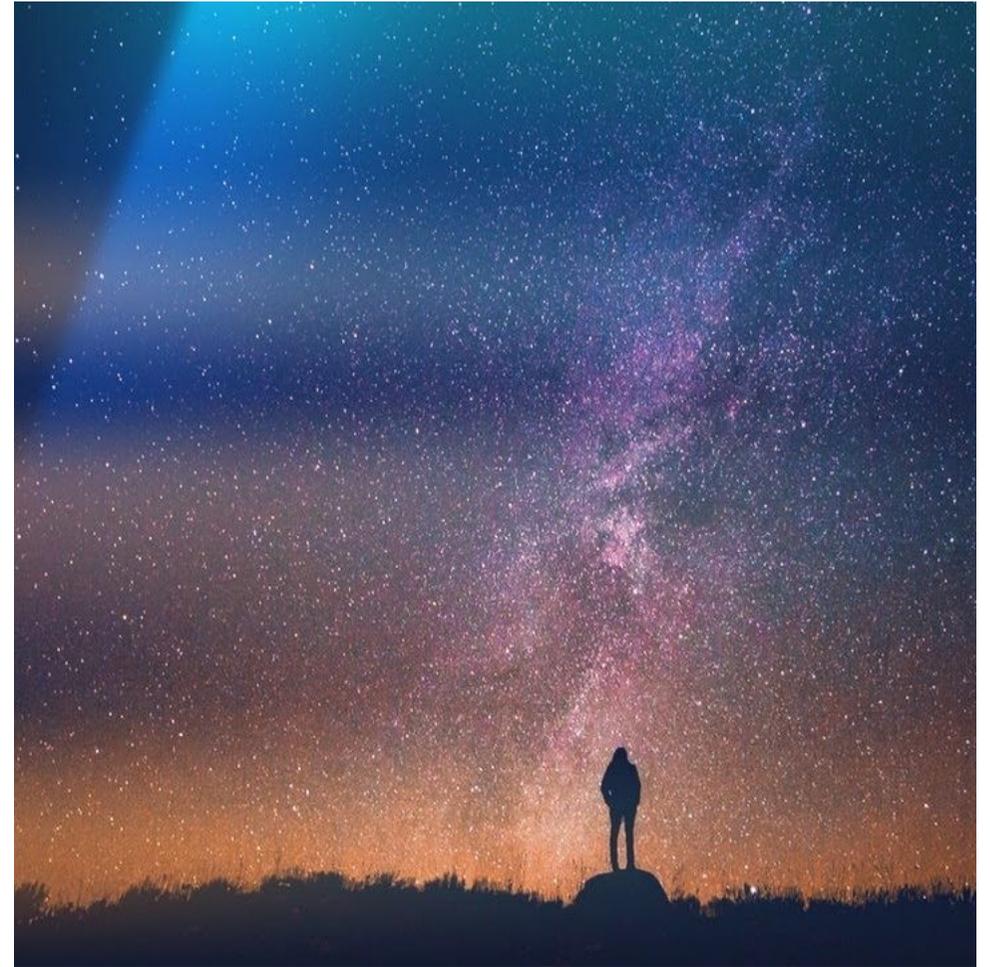
ヴェーダは主要部分を「サンヒター」といい、一般にヴェーダという時はこれを指します。サンヒターに付随する次の文献が、紀元前800年頃前後から紀元前500年頃に成立しました。

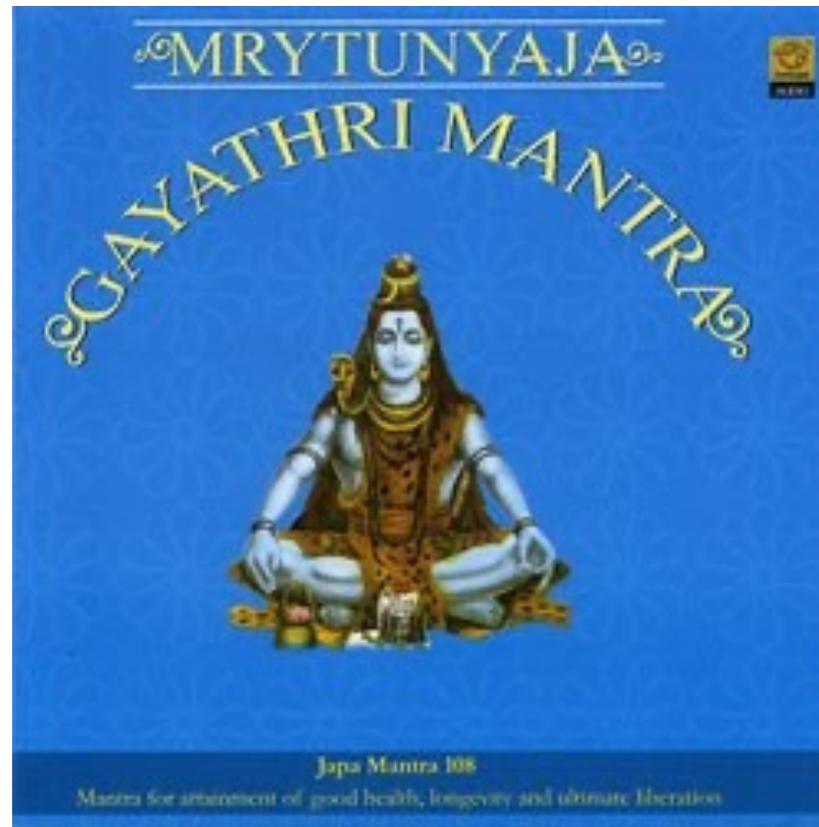
ブラーフマナ（祭儀書）：祭式の規定と祭式の規定の神話的解釈を与える文献

アーラヌヤカ（森林書）：人里離れた森の中で伝授される秘儀的祭式や教義を説く文献

ウパニシャッド（奥義書）：宇宙の原理や人間の本質に関する哲学的な教説

- ・ 聖音とプラナヴァ
  - ・ AUM
- 







即興という世界で起きること